

クロカタビロオサムシ

学名	Calosoma maximowiczi (Morawitz)		
目名	コウチュウ目		
目名学名	COLEOPTERA		
科名	オサムシ科		
科名学名	Carabidae		
カテゴリー	大分県：Ⅱ (VU)	環境省：掲載なし	



[選定理由]

非常に個体数の少ない種である。近年、減少傾向が見られる里山の昆虫の一種と考えられ、絶滅が懸念される。

県内分布	九重町, 別府市, 湯布院町, 緒方町
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州
世界的分布	シベリア東部, 朝鮮半島, 中国, 台湾
生息環境	森林の林縁部の樹上で主にチョウ目の幼虫を補食する。クヌギの樹液にも集まる。
現状	近年の採集記録がほとんどなく、個体数が激減していると思われる。
備考	